

# いまどきの歴史

新聞をななめ読み、  
週刊誌を読み飛ばし、  
倍速モードでニュースを見れば、  
よくわかる、すぐわかる、最近の歴史。

## 教育

子供の視野は  
せまくてあたりまえ

だからこそ大人が  
広げてやるべし

「僕がぎせいにあります」と遺書を残し新潟県上越市の中学生がいじめを苦に自殺。学校が抱える問題はここ数年何ら変化していないことを露呈した。いじめた側の言い分はこいうだ「テストの点がよくてむかつく」。最後に学校名、学年、組、出席番号が記された遺書には「あいつらは僕の人生そのものをうばっていきました」とある。

いじめの被害者も被害者も学校での優劣にしか価値を見出せないから試験の点を妬み、それでいじめられれば人生を奪われたことになる。遺書で自分を学校名や出席番号で表すのも、学校が唯一のよりどころだから。「勉強ができる」とは「ある種の処理能力がある」ことにすぎず、人間の価値は学校の外にもたくさんあることを教えてやれる大人も少ないのに、その真っ只中にいる子供にそれをわかれというのとは酷な話。ならばそこを通り過ぎてきた大人たちが気付かせてやらねば子供は救われない。いじめた生徒の一人が反省し「今後は勉強を頑張る」といった。ここに「勉強」が出てきてしまうことがこの問題の根深さを物語っている。

サッカーワールド大会では、世界三大テノールのコンサートがあったのになあ。



## スポーツ文化

以前はワールドカップサッカーだったが、今や大半の人気競技でW杯は行われる。だがバレーボールのそれは少々程度が低すぎるのではないか。

W杯バレーは日本が永久開催国だ。それだけでも貧弱なのに、大会を取り巻く文化環境が絶望的に相末なのだ。昨年の大会、試合前にアイドルグループV6が歌うとあってそのファンが会場に殺到し、多くのバレーファンがチケットを買えず入場できない事態が発生した。V6や和製ポップスも悪くはないが、大会が終われば思い出しもしない音楽のためにバレーファンが世界最高水準の試合を見られないとは本末転倒。スポーツの国際大会に音楽会や絵画展などの芸術イベントはつきものだが、それはオリンピックに「芸術競技」があった頃の名残で、低レベルの音楽やDJの絶叫でスポーツイベントをカラ騒ぎさせるためではない。スポーツの醍醐味を見せることを考えない放送局や広告代理店の拜金主義によるスポーツイベントの開催は、ファン離れを呼び、その競技の衰退にもつながることを協会の方々はお忘れなく。

## 政治

一体何の責任を取ったのか  
江藤総務庁長官の  
引責辞任

「韓国を植民地支配した日本軍は、学校や鉄道を作るなど良いこともした」と発言した江藤隆美総務庁長官について、韓国政府が日本政府に対し処罰を求めていた問題は昨年11月13日、江藤長官の辞任によって一応の解決を見た。その学校や鉄道が強制労働で築かれた韓国によって、支配者たり出された韓国人に作られた歴史的事実を日本人のために作られた歴史的事実と韓国の国民感情を無視した発言をした江藤氏は辞任もやむを得ないが、実はこの辞任劇、かなり不可解なものだった。江藤氏処分による自民党の反発が怖い村山首相が処分を避けたことに対し、社会党が「処分すべき」と反発し、連立に亀裂が生じる恐れができた。が、連立にお咎めもなければ江藤発言を是認することになる。そこへ新進党から不信案が提出され、江藤氏が「自発的に」辞めないかと政府は韓国、自民、社会、新進のどこにも格好がつかなくなつた。よって江藤氏辞任は「党に迷惑をかけないため」であり、発言の訂正も撤回もない。周りを慮ることを忘れて、国内政権の維持に汲々としているうちに、日本はアジアから見捨てられるだろう。

全国200都市展開!もう週末は1人じゃない。アフターフォローも定評

# 出逢いはアンリミッツ!

KYOTOプログラム

<p>100%男性からあってもいいじゃない</p> <p>100%男性からあってもいいじゃない</p> <p>100%男性からあってもいいじゃない</p>	<p>100%男性からあってもいいじゃない</p> <p>100%男性からあってもいいじゃない</p> <p>100%男性からあってもいいじゃない</p>	<p>100%男性からあってもいいじゃない</p> <p>100%男性からあってもいいじゃない</p> <p>100%男性からあってもいいじゃない</p>
---	---	---

お申込専用 関西センター ☎06-356-2211

030-198-1983 / 030-660-9996

なにやら在日外国人への差別に近いものを感じる。うがちすぎだとは思うが。



日本には生息していないはずの毒グモ、セアカコケグモが大坂で大量に発見されて以来、これにかまれることもあって、捕獲状況が現れ、乳幼児の場合は死に至ることもあるとあって、捕獲状況が現れ、乳幼児の場合は死に至ることもないクモのよう殺虫剤散布だと大騒ぎになった。何やらとんでもないクモのようだが、問題は「日本には生息していないはず」乳幼児の場合は死に至ることもある」の二点である。が、ちょっと探しただけで個体が千五百匹以上、卵囊まで見つかるなら、彼らに環境が合ったのだ。「いないはず」ではなく「いる」のだ。またこのクモは触らない限りかまない。万一かまれても初期なら鎮痛剤で治療でき、血清もあって対処は万全。ならば無闇に心配せず「いるもの」としたらどうか。スズメバチやマムシ、ハブと、危険な毒性をもつ生物は撲滅しようとしないうちに、この程度のクモで、付近の生態系を破壊する殺虫剤をヒステリックにまき散らすことに矛盾はないか。その方が危険ではないのか。ようこそ、セアカコケグモくん。ここには日本人という毒性が強く無差別攻撃する生物がいるから、気をつけてね。

# 生感

## 共生を考えるのは香気な話か 近畿圏で勃発した毒クモ騒動

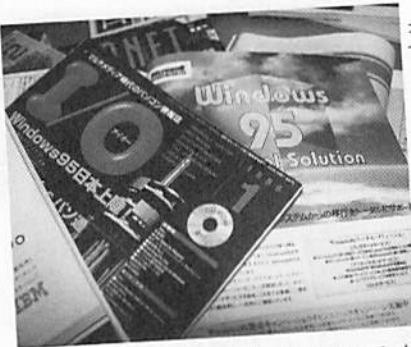
# 現象

## 相次ぐ米国日本企業の 経済トラブル ルールを守らなければならぬ理由

大和銀行が損失隠蔽で事実上米国から追放されたのに続き、米国野村証券が資本を過大評価したとしてニューヨーク証券取引所(NYSE)から罰金百万ドルなどの制裁を受けた。NYSE会員はその資本が広義の資本金から即換金できない資産を引いた額が一定以上なければならぬが、野村は流動性の高いメキシコ国債を引かず申告したため必要額に満たず違反となった。「ルールを守れ」といわれる理由は、ルールがある事柄に携わる者同士、不公平のないよう自らの責任で決められるものだからだ。歴史上あらゆるルールを自分で決め、その理念を熟知している欧米はルール遵守に敏感で厳格だが、民主主義、自由経済と、近代的なルールは全て完成品の形だけ輸入し、理念に理解のない日本は、不都合があれば遵守の前に拡大解釈を考える。今回も米国野村は、指摘の違反を「解釈の違い」と肯定も否定もせず、制裁にだけは同意した。長期化した場合の裁判費用より罰金の方が負担が軽いからだ。やれやれ、理念の理解がなければ同じ失敗を繰り返すだけなのに。

# 悲劇

## ペーパーレス時代って何だったか WINDOWS 95の思わぬ余波



コンピュータ関連の書籍・雑誌ばかり一万種も扱った専門書店もあるそう。

パーソナルコンピュータが急激に普及した頃、巷では「今後事務所から書類が消える」と噂された。それから15年ほど経つが、未だコンピュータの普及による業績悪化を理由に倒産した製紙業者の話は聞いたことがない。それどころか昨年「画期的」といわれた米国マイクロソフト社のオペレーティングシステム、WINDOWS 95の発売により紙の需要が増しているらしい。ペーパーレス時代がなぜやってこなかったかという点、要するに「コンピュータはわからん」ということ。わからんユーザーのためにOSには膨大な量の紙を使った使用説明書がついてくる。しかしユーザーは、説明書に何が書いてあるかがわからんので入門書を買う。しかも一冊では到底わからん、もう少しわかりやすい本を、と5、6冊、多い人は20冊ほど買うが、今度はそこに出てくる用語がわからんので用語辞典を買うといった具合に、コンピュータが進化するたびに紙の需要は増える一方という図式が成立した。製紙業界の危機を救ったのは、実に機械に弱いオジサンだったのである。

いままでの歴史